

繊維とは狭義には布を織る材料である糸をほぐした最小の単位をさすが、ここでは糸になる原料から布、そして、それを織る行程も含めた広義の意味での繊維についてその基礎をまとめた作品である。繊維には「天然繊維」と「化学繊維」に分類される。主として天然繊維について述べる。

人が快適な暮らしをおくるには「衣・食・住」が整わなくてはならない。中でも「衣」は体温調節や危険から身を守るものとして狩猟採取の時代から農耕牧畜生活になる頃、人類は天然繊維を利用するようになったと推察されている。BC8000年頃、メソポタミアで亜麻が栽培され世界最古の繊維の利用である。BC6000年中央アジアで牧羊が始まり、BC5000年メソポタミアで毛織物が誕生した。綿布はBC5000年のメキシコ、BC3000年のインダス下流にて発掘されている。BC3000年の中国で養蚕が始まり、2～3世紀チベット、インドへ、5世紀にはギリシア、ローマへ、シルクロードへと発展した。日本には12000年前、縄文早期に大麻が伝来し、主要素材となる。弥生時代は絹も使用されるようになった。

プラン

| | | | |
|--------|------|--------|-------|
| タイトル | 1 | 4 綿 | 13～14 |
| 1 麻 | 2～6 | 5 羊毛 | 15 |
| 2 韌皮繊維 | 7～8 | 6 合成繊維 | 16 |
| 3 絹 | 9～12 | | |



シルク(生糸)商標
戦前ラベル

1 麻

麻は世界最古の繊維。麻と一括りにしているが実は数種類ある。ミイラを包んでいた白い布は亜麻であり、日本の神道と深いつながりのあるのは大麻である。葉脈繊維としてはマニラ麻、サイザル麻なども。麻は中空構造であり、繊維構造が密着している為、硬くて曲がりにくい特徴がある。ここでは著名な三種を述べる

1-1 大麻 (Hemp)

中央アジア原産、12000年前縄文早期に日本に伝来、繊維としては鳥浜遺跡（福井）から出土



神宮大麻 (おおぬさ)

厳重なお祓いを受けた清らかなるお神札。開封は厳禁だが、精麻が納められている。

精麻

韌皮から不純物を取り除いた繊維で、祓いの力があり、神社の弊、鈴緒の綱などに使用される。

神宮大麻全国頒布百五十周年





2017 マケドニア 大麻



大麻押し葉 9枚葉



精麻の繊維 (トチギシロ)



精麻は塩や水でも祓うことができない穢れを祓うとされている

大麻風景印



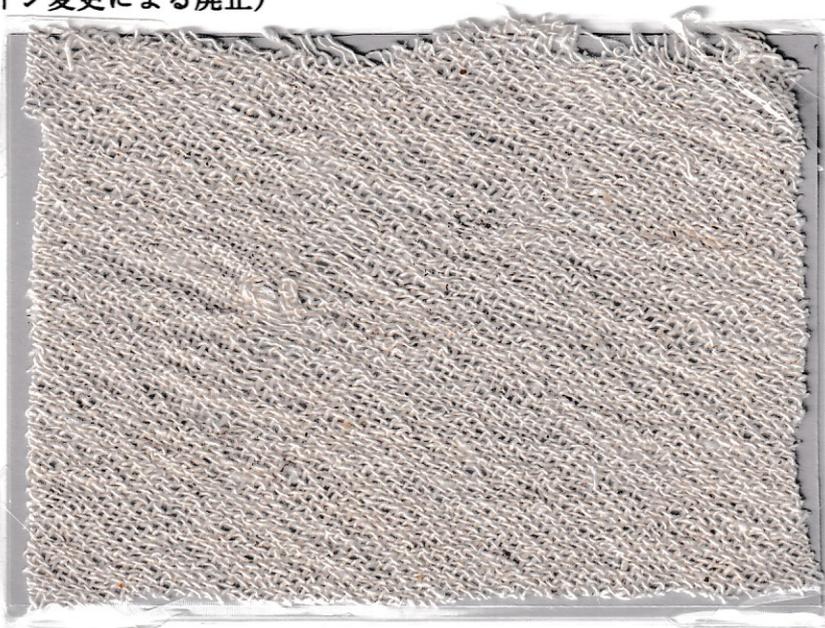
(デザイン変更による廃止)



(デザイン変更による廃止)

大麻の端切れ

(トチギシロ)



1-2 苧麻 (Ramie)

東アジア、東南アジア原産。イラクサ科の多年生植物。日本ではカラムシ *Boehmeria nivea* var. *nipponivea* から採れる繊維。変種が多い。飛鳥時代には貴族から庶民まで苧麻の衣服を用いた。『日本書紀』持統天皇7年(693年)条によれば、天皇が詔を発して役人が民に栽培を奨励すべき草木の一つとして「紵(カラムシ)」が挙げられている。現在は会津地方、宮古島が産地。



苧麻(福井)の編地



1979 ブラジル ラミー刈り入れ

宮古上布：宮古島で織られてきた苧麻(カラムシ)織物

小千谷縮：新潟県小千谷市周辺を生産地とする。苧麻(カラムシ)織物



1986 切手趣味週間
菊池契月画「南波照間」
宮古島近くの想像上の島

紡いだ糸を平らにする婦人と佇む少女、ともに苧麻の上布衣装。明るい南国の背景が広がる。

苧麻の繊維
(宮古島)



1985 小千谷チヂミ (第一次伝統工芸品シリーズ)

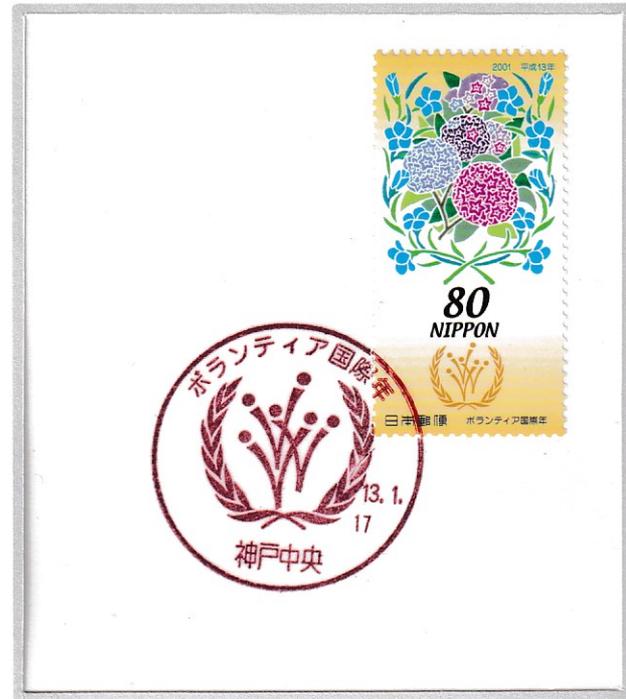
1-3 亜麻 (Linen)

カフカス地方～中東原産。アマ科の一年草。世界で一番古い繊維ある。ミイラを包んでいた布。

江戸時代に日本に薬用植物として伝来。種を使用するために限られた範囲で栽培。明治時代にワタ栽培のできない北海道に導入されたが、戦後、大麻取締法などの影響もあって衰退した。



1979 アルゼンチン



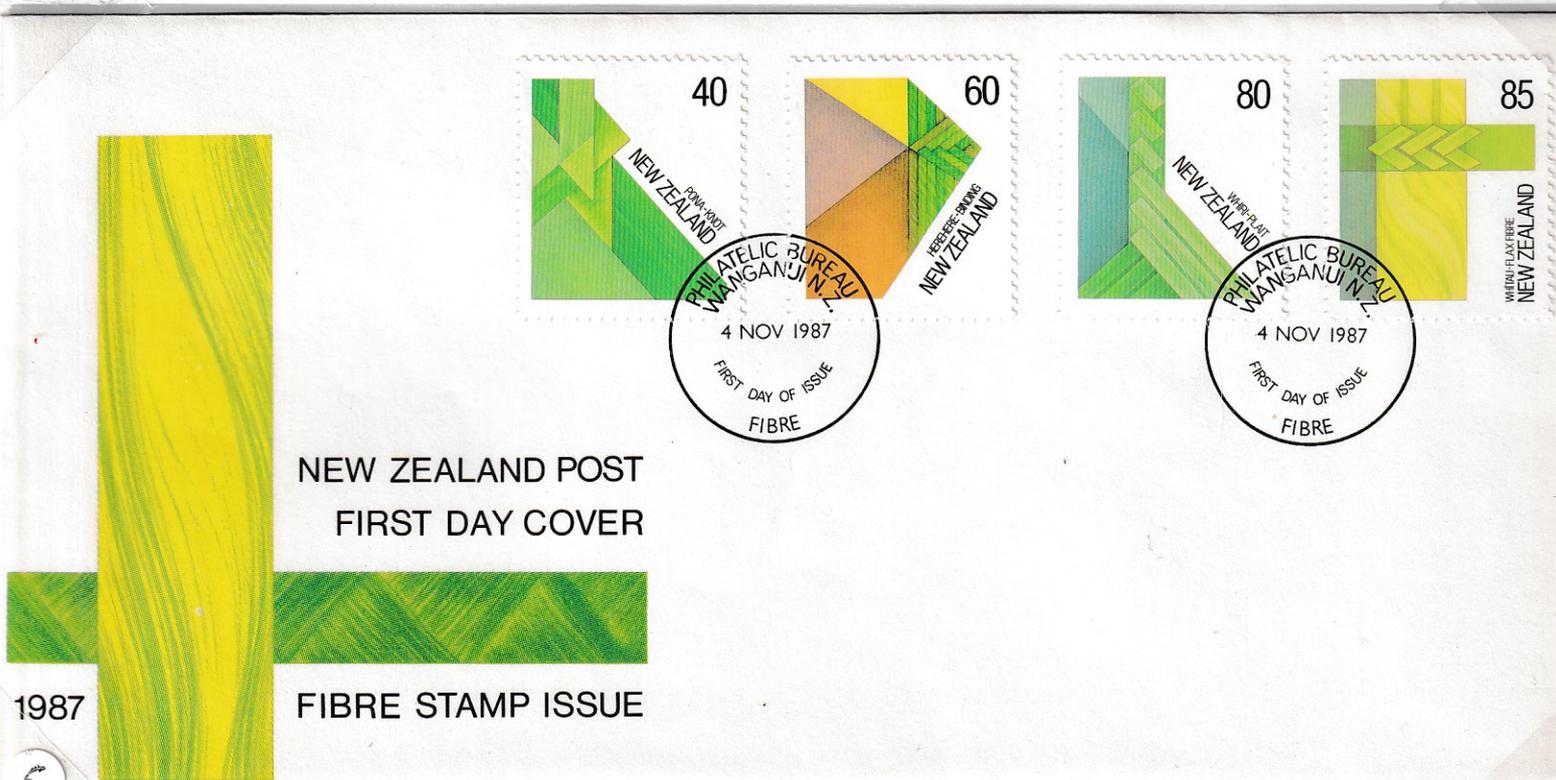
2001 ボランティア国際年記念
アマとキダチルリソウの花をデザイン
日本政府が国連に呼び掛けて設定された

亜麻布



1987 ニュージーランド マオリの織維細工

右端 80NZ セントが亜麻繊維



1987

NEW ZEALAND POST
FIRST DAY COVER

FIBRE STAMP ISSUE

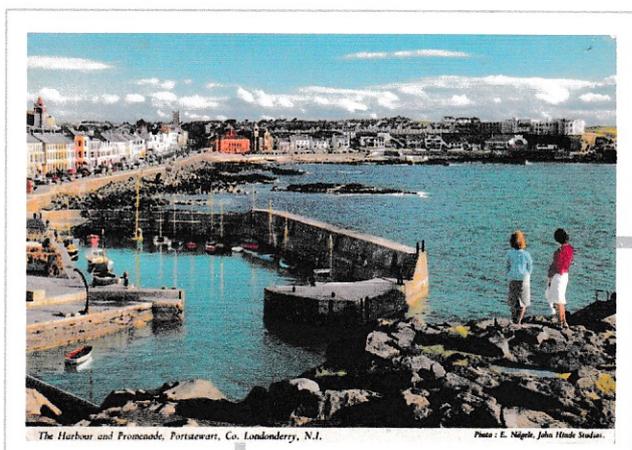
5

2008 イギリス 地方切手小型シート



実通便

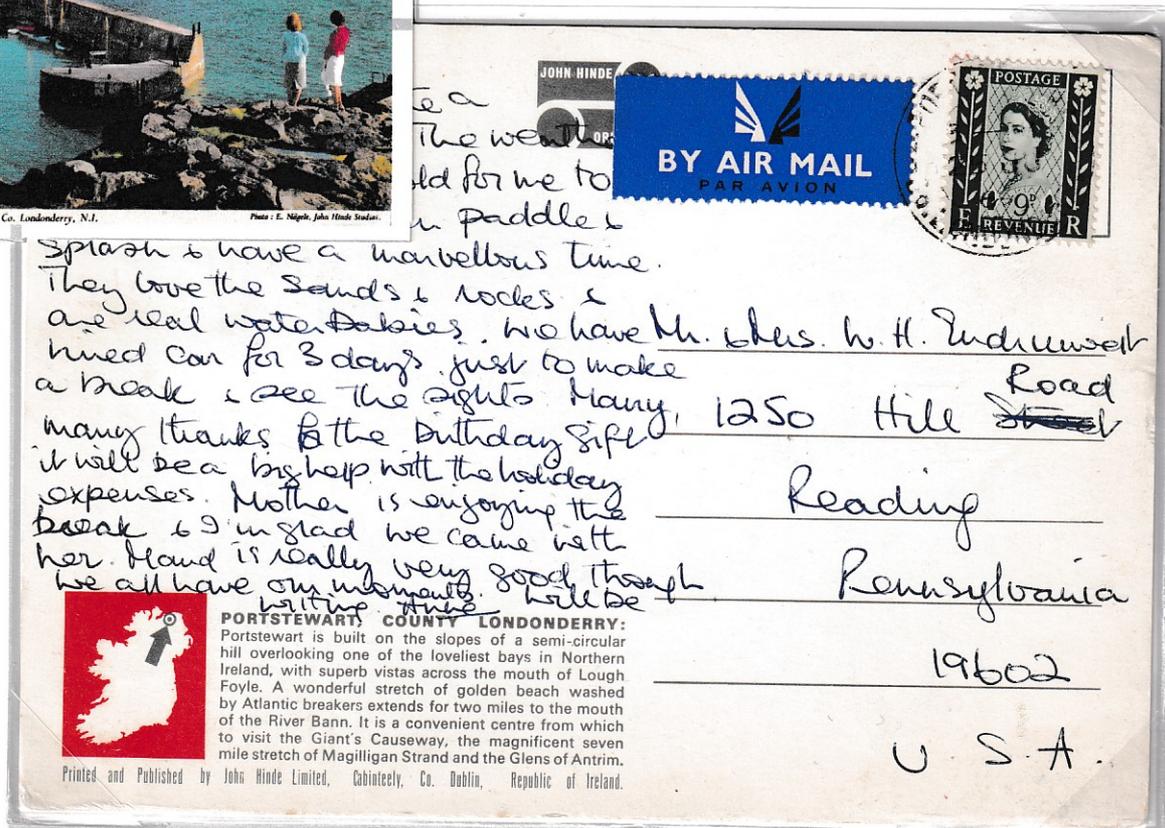
1969 北アイルランド・ポートシュワート → 米ペンシルベニア州ディング



The Harbour and Promenade, Portstewart, Co. Londonderry, N.I.

Photo: E. Niggle, John Hinde Studios.

裏面コピー55%



Tea
The went
old for me to
in paddle
Splash & have a marvellous time.
They love the sands & rocks &
are real water babies. We have Mr. plus. W. H. Andrews
hired car for 3 days, just to make
a break & see the sights. Many
many thanks for the birthday gift
it will be a big help with the holiday
expenses. Mother is enjoying the
break & I'm glad we came with
her. David is really very good though
we all have our moments. ~~the~~ will be



PORTSTEWART, COUNTY LONDONDERRY:
Portstewart is built on the slopes of a semi-circular
hill overlooking one of the loveliest bays in Northern
Ireland, with superb vistas across the mouth of Lough
Foyle. A wonderful stretch of golden beach washed
by Atlantic breakers extends for two miles to the mouth
of the River Bann. It is a convenient centre from which
to visit the Giant's Causeway, the magnificent seven
mile stretch of Magilligan Strand and the Glens of Antrim.

Printed and Published by John Hinde Limited, Cabinteely, Co. Dublin, Republic of Ireland.



1250 Hill Road
Reading
Pennsylvania
19602
U.S.A.

↑ロンドンデリー州ポートシュワート郡
ポートシュワートを賛美する観光紹介文

2 韌皮繊維（一般的に言う古代布）ここでは麻を除く

身の回りの植物の樹皮や蔓から繊維を採り、灰汁で煮ることで柔らかくし、叩き、もみほぐし、冷たい川水でしごき、糠で発酵して漂白、乾燥し、薄く剥ぐ。秋になると糸づくりに入り、細く割いて糸を結ぶように績み、撚りをかけて糸にする。想像を越える作業だ。女たちは家事をこなし、農作業をやりながら、家族の衣を作る布を作ってきた。今ではその技術は風前の灯である。

2-1 アットウシ (attus)

ニレ科のオヒョウ、シナノキなどの木の内皮の繊維、布、だけではなく、仕立て上がった着物を含む名称。普段着はそのままだが、晴れ着の場合には襟や袖などの部分に木綿の布を縫い付け、さらにそこへ刺繍かアップリケを。



オヒョウの樹皮からできた繊維



2015 日本



2020 スペイン
ニレの木でできた切手

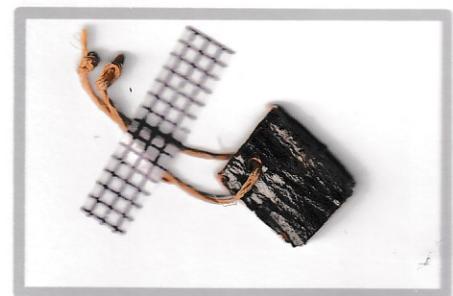


2013 ボスニア・ヘルツェゴヴィナ檜の木

2-2 シナ布 シナノキの繊維から山形、新潟などで。強靱。今では2~3の山里で織り継がれている。



シナノキ繊維



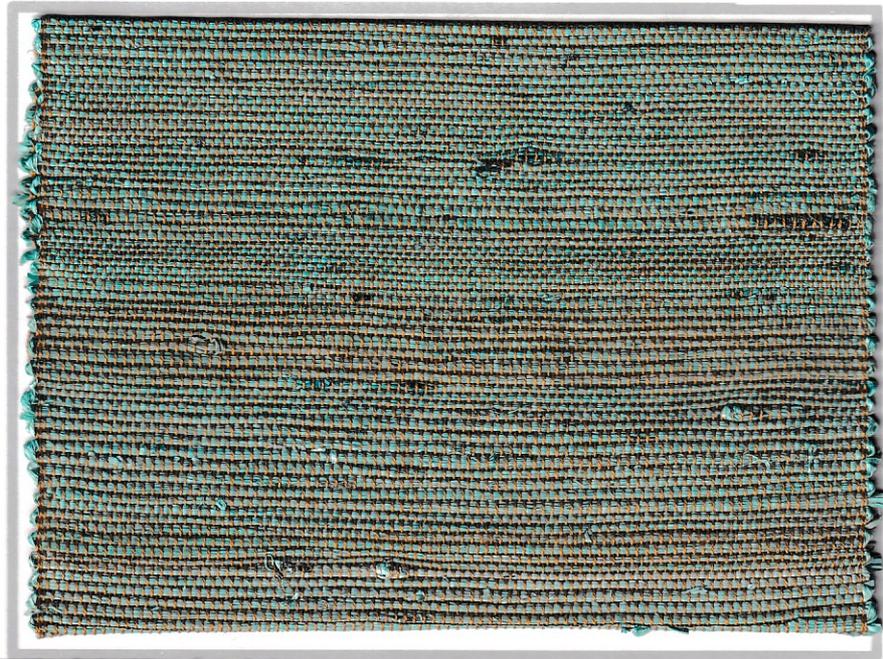
シナノキ樹皮

2-3 葛布

全国に材料があった。掛川葛布が代表ハリ、光沢があり、公家や武士の衣装



1970 日本万博記念 酒井抱一「夏秋草図」

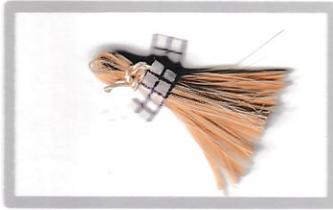


緯糸（よこいと）に葛布繊維、経糸（たていと）に綿糸・絹糸使用

掛川葛布

2-4 芭蕉布

沖縄と奄美群島の伝統織物で糸芭蕉の葉柄から繊維を採る。藍色が特徴。与論島の芭蕉布は与論民俗村の菊氏により継承されている



芭蕉布の繊維



2012 日本



photo by Shibata

カジノキ

2-5 藤布

万葉の時代から織られていた藤布、灰汁で炊いて繊維をとりだす。暖かく強靱だ。



1966 日本



2003 日本 日本郵政公社設立記念

2-6 タパクロス

クワ科のカジノキから作られるトンガの樹皮布。糸を使って織るわけではないため、布というよりも紙に近い質感。



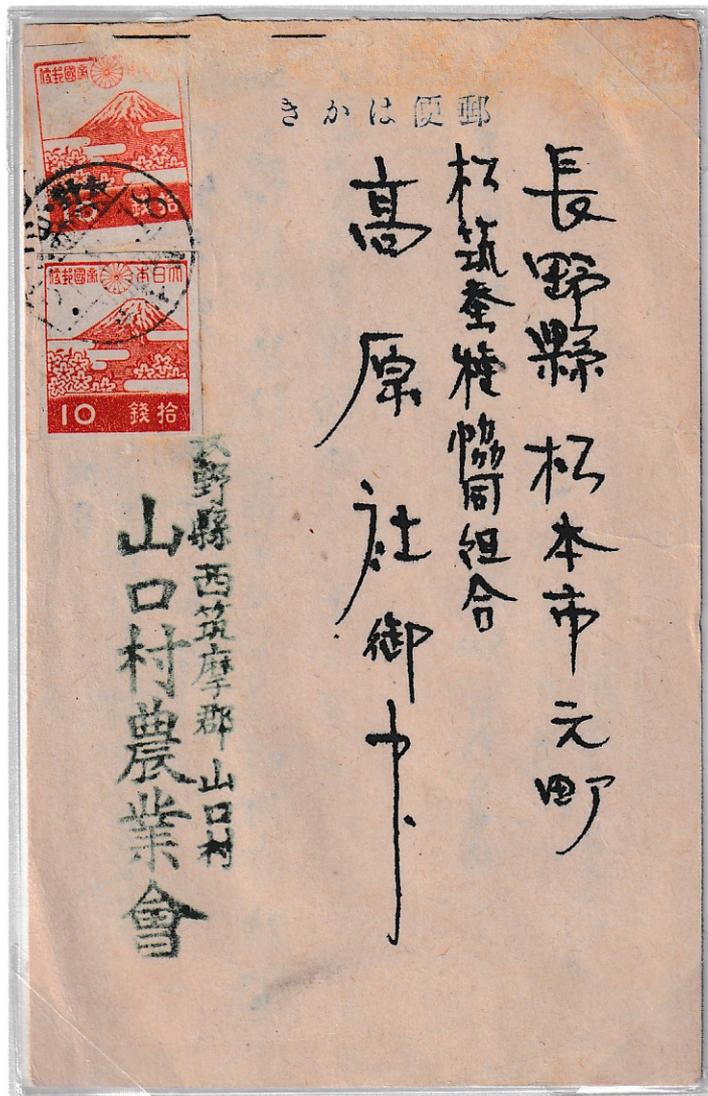
1952 サモア

カジノキは日本に自生し、神道では神聖な樹木のひとつであり、諏訪神社などの神紋や日本の家紋である梶紋の紋様としても描かれている。また、昔は七夕飾りの短冊の代わりとしても使われた。

3-2 養蚕

蚕種

元禄時代に專業蚕種家が出現し、安政年間に蚕糸技術は一段と進歩、生糸輸出も盛んになる。蚕種製造は專業化し、武蔵・相模・下総・上野・下野・信濃・甲斐を中心に蚕種業者が輩出、蚕種の販売が行われた。明治末期から大正時代に入ると、養蚕業の組織化が進み大口需要が増えた。昭和6年の蚕糸業組合法公布に伴い、同7年には全国蚕種業組合連合会が設立され、これが終戦後発足した全国蚕種協会の前身となった。



山口農業会→松筑蚕種協同組合（注分量変更の届）

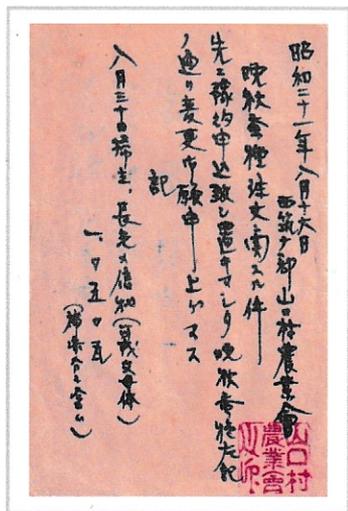
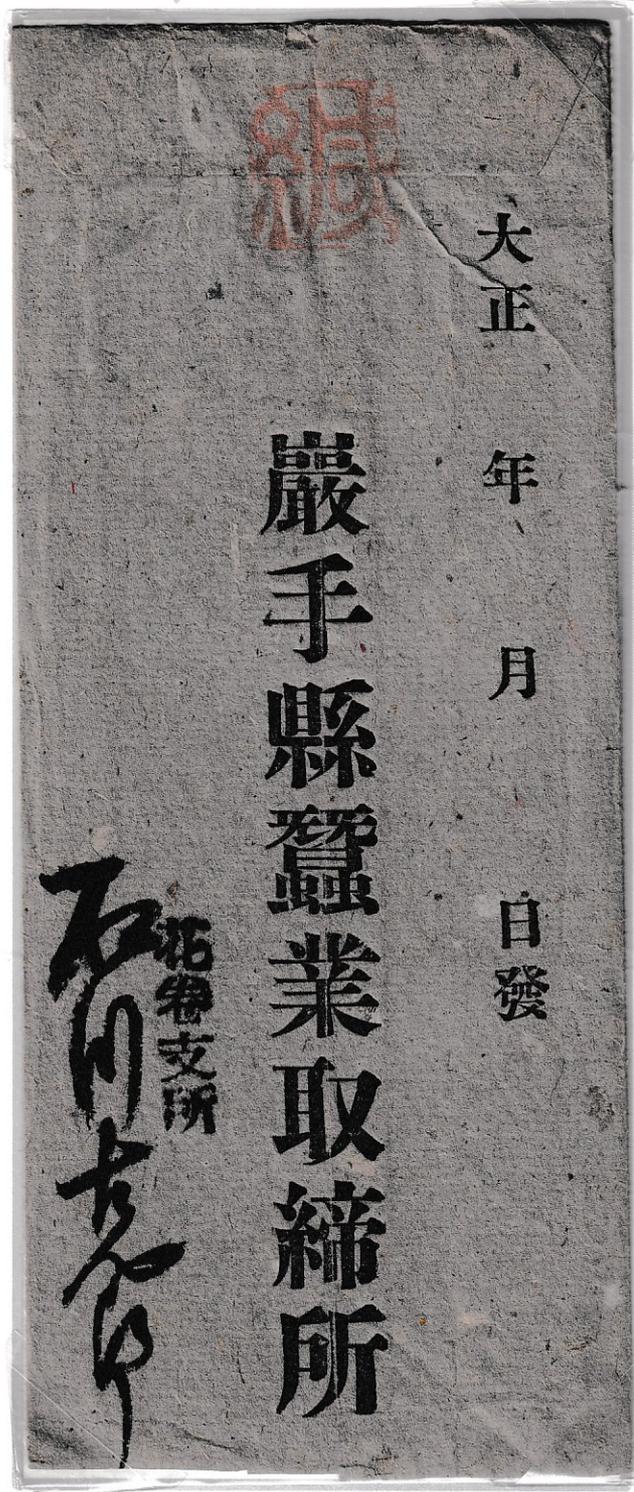
巖手県蠶業取締所花巻支所

→ 岡崎市蚕種業者宛て

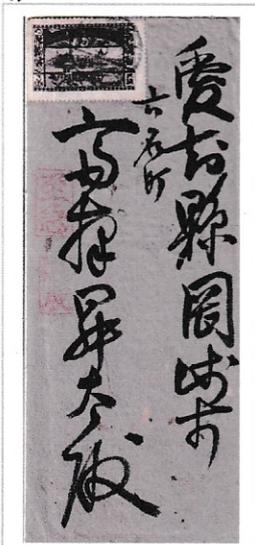
蚕種業者は乾燥母蛾を蚕行業取締所へ持参し微粒子病検査を受け、合格証紙を受けねばならなかった。



蚕種印紙



裏面コピー45%



表面コピー38%

世界で初めての蚕関係切手



戦前光州郵便局 (初日印)変形印・繭



岡谷郵便局 (初日印)変形印
桑・カイコ・繭・生糸が揃っている



1930 レバノン



1973 ニューゼーランド
Püriri 蛾 (ニューゼーランド固有種)



1963 ルーマニア



1965 北朝鮮



1966 アフガニスタン



1989 トルコ



手彩色絵葉書 (戦前) 「桑摘み取り風景」

織物とは経（たて）糸と緯（よこ）糸を交差させて作る布地で糸の撚り方や織り方によって縮緬・羽二重・紬・絹・紗などの言い方がある。織機は縄文時代遺跡から発見されているが、奈良時代に絹織物が貴族の衣服となり江戸時代に養蚕が盛んになった。明治には国を大きく発展させた絹産業である。日本各地にその土地ならではの特産絹織物がある。（置賜紬・結城紬・塩沢紬・牛首紬・西陣織・大島紬など）



1937 織姫祭



1948 紡績女工



1977 切手趣味週間「機織図屏風」



2013 地方自治 60th 「蔵倉庫と女工」

| | | | | |
|-------|--------|-----------|-----------|------|
| 品質表示 | 摘要 | 製造者 | 本場大島紬検査之証 | 純絹織物 |
| 絹100% | 検査合格 | 株式会社 藤原製織 | J 031452 | |
| 織上げ幅 | 織上げの長さ | | | |
| 以上 | 以上 | | | |



↑ 大島紬生地と登録商標



2017 ポルトガル 絹産業

4 綿 (Cotton)

木綿がとれる植物で、起源の異なる数系統ある。花は朝開いて夕方にはしぼむ一日花。木綿栽培の最古の証拠は約7000年前のメキシコにある。日本へは799年三河に漂着した崑崙人から伝わったが定着せず、16世紀以降にようやく栽培されるようになって木綿が普及。

4-1 ワタの花



1965 カンボジア



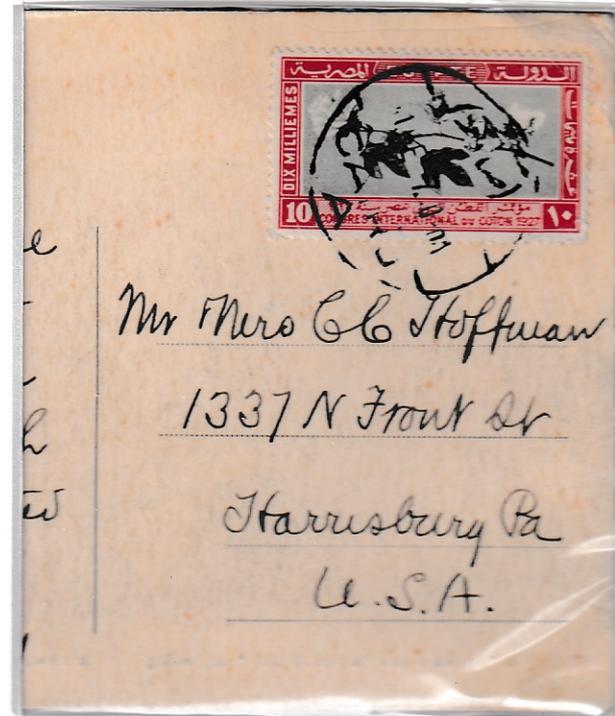
1966 アフガニスタン



1965 ルーマニア



2023 我が家の畑で咲いたワタの花



1927 エジプト発行切手エジプト→USA



我が家で栽培したワタ

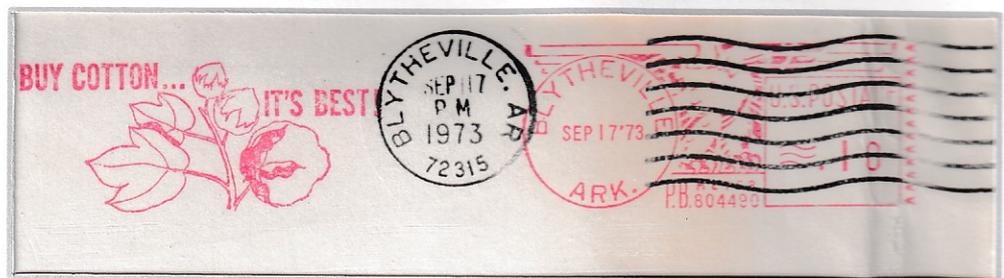
左) 西洋ワタ 右) 日本ワタ

4-2 ワタの実



1949 (旧) バハワルプル

1973 USPOSTAL Meter Stamp



1938 エジプト



1948 エジプト



1972 中央アフリカ



1961 エジプト切手に
イスラエル加刷

4-3 木綿

木綿は世界的に重要。木綿製品には吸水性の高いタオル地、ジーンズのデニム、青い作業服などのカンブリックなど多彩。木綿と合成繊維が本格的に競合するようになったのは、1950年代にポリエステルが出回るようになってから。木綿の欠点のひとつは「皺」、合成繊維との混紡で改善された

1990 大韓民国



綿うち 棉弓で
繊維をほぐす

糸繰 綿球から
繊維を引き出す

整経 経糸を整
える

機織り 布を作
っていく



1964 琉球郵便特産
ミンサー



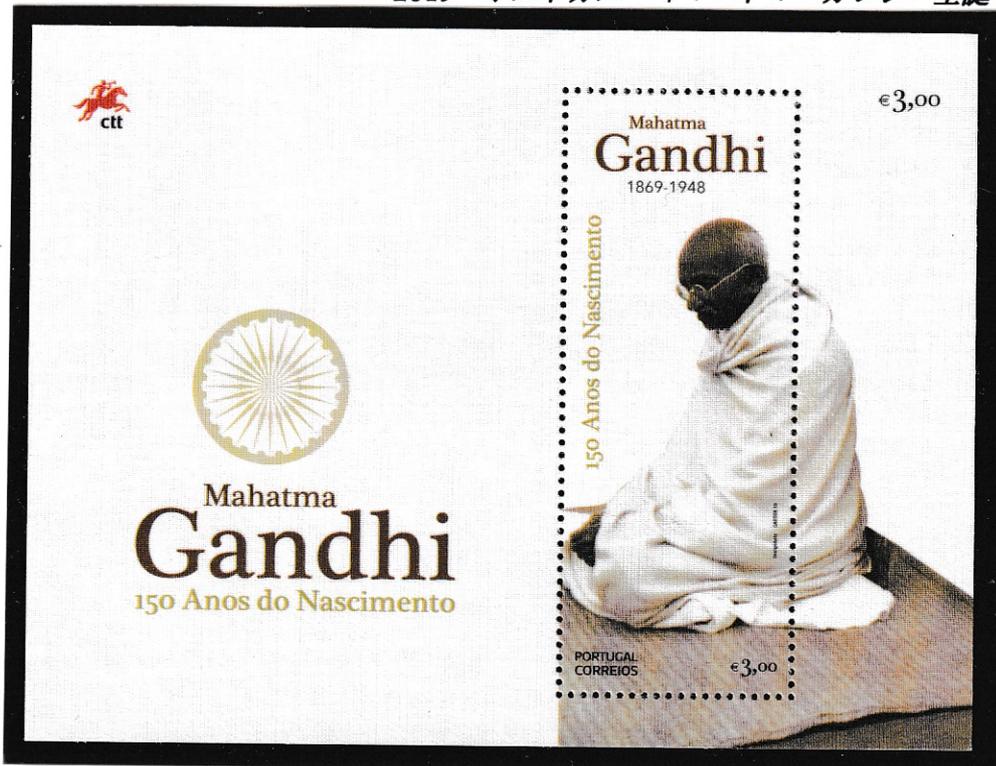
竹富郵便局風景印
赤い屋根と特産ミンサー



繊維の町「倉敷市マンホールカード」

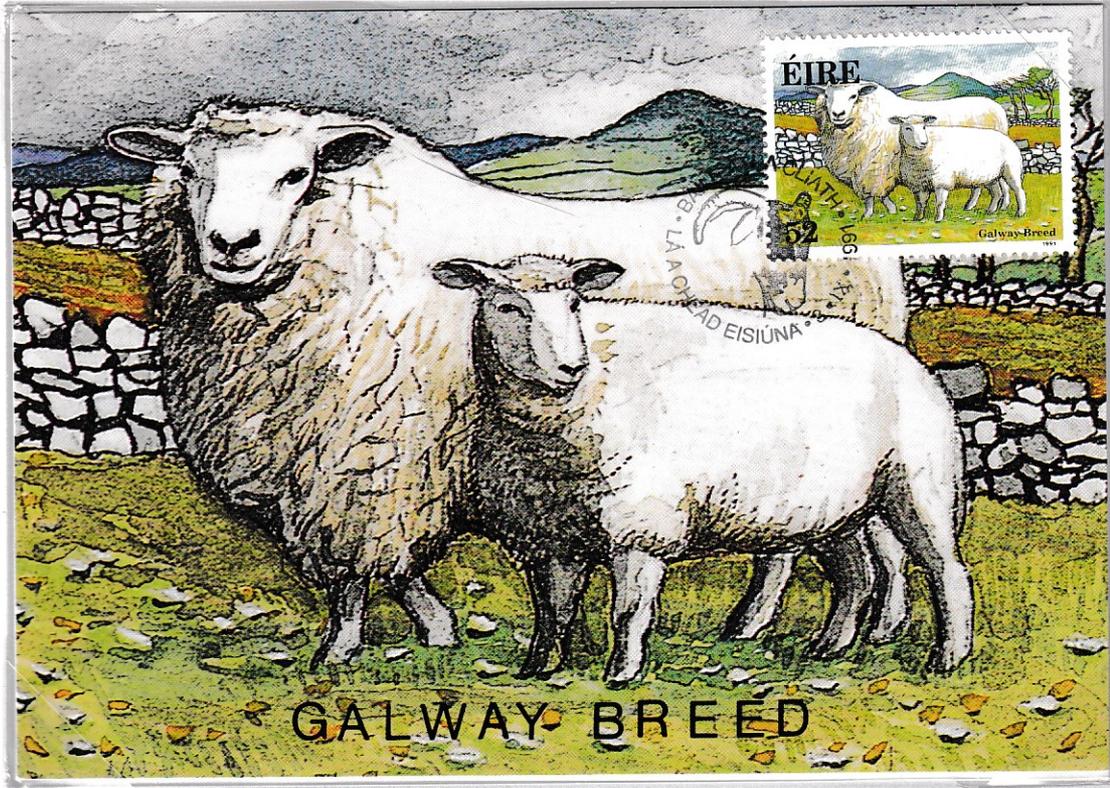
カディコットン使用の布製切手

2019 ポルトガル 「マハトマ・ガンジー生誕150周年」



5 羊毛 (Wool)

羊の毛を原料とする動物繊維。ただし Wool には毛糸（ヤギの毛を原料とするモヘヤやカシミヤ、ウサギの毛を原料とするアンゴラ、アルパカなどの毛糸を含む）やそれを用いた毛織物全般をさす場合も。



1991 アイルランド郵政 MC



1971 アメリカ合衆国



泉大津局/泉大津大橋・
綿羊像と毛布面



1936 ニュージーランド



1971 ソレト



1991 ニュージーランド



2017 ポルトガル ウール産業

6 化学繊維

石油などから化学的プロセスにより製造される繊維の総称。日本では一般的に人造繊維は化学繊維と同義で扱われている。1884年シャルドンネ（仏）が硝酸セルロースよりレーヨンを製造したものが始まり、技術の発達とともに天然繊維では出せないような機能性を実現させ、昨今では多くのハイテク素材が生まれている。



2023 スイス 「スイスの発明」面ファスナー（日本でいうマジックテープ）付き切手

カシエはヒントになった野ごぼう
 スイス人ジョルジュ・デ・メストラルの発明。
 ナイロンの糸の（フック）と（ループ）で構成されて
 ワンタッチで着脱できる。商品化は1955年



1964
 「東海道新幹線開通」
 実は日本で初めて使用されたのは新幹線枕カバー



1963 ドイツ民主共和国 「合成繊維の切手・ポリアミド/テデロン」 現代の実験装置と石油化学工業の蒸留塔

後記

繊維の種類は多く、その歴史は深く、複雑に発展してきた。「衣」の分野であるから各国、多くの切手発売があり、大切さを感じる。古代の人々は想像を遙かに越える作業から一枚の布を作り出した。便利な化学繊維の時代に暮らしているからこそ、その歩みを学び、これからは一枚の端切れを大切にしていきたいと思う。

参考文献

佐滝剛弘著「日本のシルクロード」
 磯貝有之著「切手によるせんいの文化史」
 丸善「繊維の百科事典」
 別冊太陽「日本の自然布」
 Wikipedia